



スポーツと皮膚病

老若男女を問わず、体を動かすのはとても気持ちの良いものです。しかし、紫外線、高温、多湿、汗、摩擦などは皮膚にとって好ましいものではありません。身近なスポーツで皮膚のトラブルが起こることがあります。皮膚に異常があるときは、まず皮膚科専門医にご相談ください。

紫外線障害



単純ヘルペスの誘発

びらん性口唇炎

日焼け

テニス愛好者に発生した皮膚がん

カビによる皮膚病



癬(でんぶう)

トズランス菌による
格闘技白癬

マラセチア菌による胸のニキビ

ランナーにできた水虫(足白癬)

汗による皮膚病



アトピー性皮膚炎の悪化

脇下のごすれ
(間擦疹)

汗による背中のじんましん
(コリン性蕁麻疹)

外力による皮膚病



剣道部員のタコ

マラソン後の爪下血腫

テニスによる陥入爪

バスケットボールによる血まめ

柔道耳の始まり

スポーツ外傷



スパイク裂傷(縫合後)

自転車競技中の擦過傷

ラグビー外傷部におこった溶連菌感染
腎炎を起こすことがあります
破傷風にも注意が必要です

湿布やスプレーによる皮膚病



過度のコールドスプレー噴霧による
右下腿の凍傷

ケトプロフェン湿布剤(モーラステープ®など)による皮膚炎
過去に湿布を貼付した部位に紫外線が当たると
皮膚炎が誘発されることがあります

気をつけたい!! 食物依存性運動誘発性アナフィラキシー・じんましん



まぶたや結膜の激しい腫れ

注意

小麦、エビなどの食物アレルギーの人は食後の運動でこのような
症状がおこることがあります。詳しくは主治医に相談してください。
「茶のしずく®」石鹸(平成22年12月7日までの製品)で小麦アレルギー
ギーになった人もいます。ご注意ください。

小麦アレルギーによる
運動誘発性の重症じんましん

いい ひふ
11月12日は皮膚の日です